

目次

推薦のことば 3

出版にあたって 4

第一章 いじめの定義・様態・原因 10

I：いじめの定義 11

II：いじめの様態 11

III：日本のいじめにみる特徴 12

IV：いじめの分類 13

V：いじめの原因 13

VI：いじめを生む原点は“攻撃が快感を生む”ことにある 14

VII：特定の人物間で継続する人間関係性とは何か 15

第二章 いじめと嗜癖 18

I：嗜癖とは 18

A：物質嗜癖（サブスタンスアディクション） 18

B：行為嗜癖（プロセスアディクション） 19

C：関係嗜癖（リレーションシップアディクション） 19

II：いじめの中核は関係嗜癖か 22

A：プロセス（行為）嗜癖型のいじめ 22

B：一方的に人間関係性を作る嗜癖がいじめの中核である 23

III：関係嗜癖の分類 23

IV：支配型関係嗜癖とは 24

V：支配型関係嗜癖の分類 25

VI：愛着型関係嗜癖とは 26

VII：まとめ 27

第三章 関係嗜癖形成/継続の因子分析 28

I：関係嗜癖の形成・継続因子 28

A：加害者の因子 28

B：被害者の因子 33

C：被害者/支配される側の利益 35

D：加害者と被害者の物理・空間的距離 36

E：加害者、被害者の所属する組織の要因 37

II：いじめのタイプ別にみた関係嗜癖形成因子 37

A：報酬遮断を用いるいじめ（支配型関係嗜癖） 38

B：群居・愛着遮断するいじめ（無視・シカトを用いる支配型関係嗜癖） 38

C：愛着型関係嗜癖に関係するいじめ 38

III：まとめ 39

第四章 嗜癖の心理教育と隠蔽開示 42

I：嗜癖の心理教育（いじめ嗜癖説） 42

A：嗜癖と呼ばれる人間の行動 43

B：関係嗜癖の分類 45

II：いじめ嗜癖説の心理教育が関係者に与える影響 51

A：いじめ加害者にとってのメリット 51

B：いじめ被害者が、嗜癖の心理教育を受けるメリット 51

C：教師が嗜癖の心理教育を行うメリット 52

D：いじめの観客/傍観者が嗜癖の心理教育を受けるメリット 52

III：隠蔽開示 52

A：隠蔽開示の重要性 52

B：いじめ（報酬遮断性支配型関係嗜癖）隠蔽の開示 55

C：SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を使ったいじめの隠蔽開示 62

第五章 いじめ克服のケース報告 64

I：事例報告 64

症例1：嗜癖説に基づいたいじめの理解と対応について（学会報告） 64

症例2：被害者・加害者の空間分離を必要とした1例 65

症例3：行為嗜癖から関係嗜癖への移行期に介入したいじめ予防 66

症例4：いじめ継続因子としての組織隠蔽 69

II：PTSDの病態について 76

第六章 終わりに（今後の課題） 82

I：いじめの実態把握 82

II：いじめの発生と予防 83

III：支配型関係嗜癖の社会的意味 84

IV：関係嗜癖は最大の対人関係障害である 85

第七章 資料 86

資料I：心理的距離からみた対人関係障害のパターン分類 86

資料II-①：報酬遮断性攻撃行動といじめの関係 87

資料II-②：群居/愛着遮断性攻撃行動といじめの関係 88

資料III-①：文部科学省通達（平成24年11月27日付） 89

資料III-②：いじめ防止対策推進法のあらまし（平成25年6月28日付官報） 90

資料IV：ヒトの基本的欲求と中枢神経機構－進化的・生物学的理論を背景に－ 92

資料V：いじめ解決に関係する技法 99

索引 104